



ひよこだより 2月号

H27.2.10 (火)

冷たい風が吹き寒い日が続いていますが、風が止むと太陽の光はとてもうれしくその暖かさにお礼をいいたくなります。ひよこ組の子どもたちはお天気のいい日は外に出て、すべり台や園内の散策などいろいろなところに興味を持って、歩くことを楽しんでいます。

寒い日を元気に過ごすためにも、栄養のある食事、十分な睡眠をとり病気にならないように気をつけたいですね。



園庭に出て遊んでいるとき、道路を通る車を指さして「ブーブ」と言ったり犬が散歩しているのを見て「ワンワン」と言ったりと、保育士に話しかけてきます。私たちは、一語に込められた子どもの思いをとらえて、「そうね、ブーブーが通ったね」「ワンワンお散歩しているね」などと話しかけながら豊かな言葉かけを添えています。

ある日、ママごとあそびで、Sちゃんが持っているぬいぐるみをA君が取ったのでSちゃんは怒って「ギャー」と大きな声で泣き出しました。傍にいた保育士は、Sちゃんに「ぬいぐるみがほしかったね。ほしいと言いに行こうね」と言ってA君のところに行くと、「ハイ」とすぐに返してくれました。そして、泣いているSちゃんの頭を撫でてあげていました。そのA君の姿に思わず「A君も欲しかったんだよね、でもハイって返してあげられたね、ありがとう！」と言うと、A君をギュッと抱きしめました。A君がんばったね！

お気に入りの絵本紹介



赤いジープみたいなカッコいい車をまこちゃんが運転しています。「まこちゃんのじどうしゃです。はしりますよ。フュー」そこへ「ストップ!のせてのせて」。うさぎ、くま、ねずみが登場!そして、みんなをのけたじどうしゃはびゅーん、トンネルに入ります。「トンネル トンネル トンネル トンネル」「まっくら まっくら まっくら まっくら」この4回ずつ繰り返すリズムと真っ暗なページ、まるで本当に「通過中」の体感マジックです。「でた!おひさまだ!」みんなのうれしそうな顔、顔、顔。みどころは、言葉のリズムはもちろん、表情豊かな動物たちと疾走感です。

~わらべうたあそび~



ひよこ組担任：河内・中村(亜)・桑原



すみれぐみだより

第11号

平成27年2月10日(火)

節分の日、鬼役になったたんぽぽ組さんが、すみれ組に来て豆まきをしました。一斉に入って来た鬼さんたちに、子どもたちは後ずさりをしていましたが、「何かしら」という表情でした。保育士が、「鬼をやっけよう」と声をかけると、子ども達は、節分の雰囲気なんとなく理解できたようで「鬼は外」と、紙で丸めた豆を投げました。泣きだす子どももいましたが、必死に私たちの方を見ながら涙を拭き泣き止もうとする姿が、立春へと向かう子どもたちの育ちを感じました。

そのあと、春の花を届けてくれた福の神さんと一緒に「チューリップ」の歌を歌い春の訪れを感じさせる温かな雰囲気となりました。

立春が過ぎて、子ども達の笑顔や活動的な姿が暖かい春への道すじをつくってくれるように思えました。



一人でするよ

食後、子どもたちは、パジャマに着替えて眠る準備をします。その時に今までは、自分が脱いだ服をそのままにしていたのですが保育士が服のたたみ方を教えると、子どもたちは興味を示し、保育士を真似て自分で畳もうとするようになりました。上着の袖が上手く折り曲げられないと、何度も自分で折り曲げようとしています。保育士が手伝おうとすると、嫌がって自分でしようとする子どもも増えてきています。その意欲的な育ちを大切にしています。



大好きな絵本

「おしくらまんじゅう」

紅と白の2つのまんじゅうがこんにやくや納豆などを間にはさんで、おしくらまんじゅうをするお話です。まんじゅうが、間にはさむものが変わる度に「そーれ」と掛け声をかけるのですが、子ども達はその言葉が好きで、保育士と一緒に「そーれ」と張り切って言うては喜んでいきます。大好きな絵本が又、1冊増えました。



一歳児担任 福岡・今丸・草場・山田・崎野



平成27年2月10日(火) 発行

立春が過ぎても尚、厳しい寒さは続いています。雪が降ると、子どもたちは大興奮でした。屋根や車に積もっていく様子を見たり、窓から入ってくる雪を触ったりしていました。「雪を投げて遊びたい」「ママに雪だるま作ってもらおう」等と言う子どもたちと一緒に、春を待っています。



鬼は外！福は内！

朝登園すると「今日鬼さんが来る日だよね！」と嬉しそうに確認する子どもたち。年長組の子どもたちが鬼になってちゅうりっぷ組に来ると、新聞紙を丸めて作った豆を「鬼は外！鬼は外！」と言いながら鬼に投げました。「あわてんぼう鬼と泣き虫鬼と…いっぱいおる」と言っていたYちゃんは何度も鬼に向かって豆を投げており、鬼が逃げた後「鬼逃げていったね」とほっとした表情をしながら話していました。福の神が春の花を運んでくると、室内が明るくなり一足先に春がやってきた気がしました。



赤ちゃん

ちゅうりっぷ組に赤ちゃんの人形がやってきました。「パンダちゃん」「てるきくん」など一人ひとりが名前を考えて一緒に遊んだり、抱っこやおんぶをしたりしながら毎日赤ちゃんのお世話をしています。小さなお父さん・お母さんを見ているようで、とても微笑ましいです。



『箸』

ままごと遊びやごっこ遊びの中で箸を使うことにしました。1センチ～2センチの大きさに切ったスポンジや毛糸を食べ物に見立てて、箸でつまんでいます。遊びの中で、三指を使うことから始めて、食べる方向へと進めています。周りに箸を使うことができる子どもがいると、刺激を受け「箸使いたい」と箸で食事することに意欲を見せています。

2歳児担任 井上・木山



平成 27 年 2 月 1 0 日

「数字」

最近、数字を読む機会が増えてきています。片付けの時には、時計にシールを貼っており、保育士が、「色のシールのはっているところになったら片付けをするよ」と子ども達に伝えると、「先生時計が8になったら片づけるんやろ」など、自主的に片づけようとしています。数の覚え方はいろいろで、時計をみて「1・2・3」と順番に読みながら覚えている子どもがいたり、形で覚えていたり、子どもによって違った数の覚え方をしているようです。



節分

節分の豆まきにむけて、鬼のお面や升作りをしました。子どもが、色を選び、紙を好きな色に染めて、鬼の髪の毛をつくり、鬼の角を作る時は、保育士に、はさみで切る場所を確認しながら、線を引いている所を、慎重にきっている子ども、勢いよくきる子どもなどはさみの切り方は、それぞれ個性的ですが、線に沿って切るのは、とっても上手くなってきています。



完成した、お面や升を見せ合いながら、「早く豆まきできないかな」や「鬼は外、福は内」と歌いながらお面をかぶって遊んでいました。

当日になると、鬼をみて、泣いて逃げる子どもがいたり、泣いている友だちを守りながら、かわりに、鬼に豆を投じている子どもなど、豆まきを楽しんで遊んでいました。

～遊びの中で～

保育室や外で遊ぶ時に、簡単なルールを決めて遊ぶことが増えてきました。「これはこうよ」、「だめだよ、そうじゃないよ」など友だち同士でルールを確認しながら、ときどき「せんせい〇〇だめよね」と聞きに來たりしています。まだ、保育士が傍についていないと、ルールが守れずに遊びが中断してしましますが、そんな中でも子ども同士でルールを教えあっている姿もみられて、友だち同士の関わりが強くなっている子ども達です。

こすもす組 唐木 田中





平成27年2月10日(火)

♪早く踊りたいなあ♪

4歳児も1月から毎週木曜日に江口先生にグループごと踊りを教えて頂くことになりました。「先生、たんぼぼさんみたいにいろんな踊りを教えてもらいたいなあ！どんな踊りをするのかな？」と期待でいっぱいのもんなでした。

初めに挨拶の仕方を教えて頂きました。指先、姿勢など踊りを通して礼儀作法も身につけたり、「むすんでひらいて」の曲に合わせて踊っています。

♪むすんで ひらいて てをうって むすんで♪と口ずさみながら踊っています。

クラスでは、友だち同士で「こうだったかな？」「違うよ、こうだったよ！」と確認し合ったりしています。年長組に進級する期待や喜びを日々の保育の中で表している子どもたちです。



♪むすんで ひらいてて
をうって むすんで♪



指先、姿勢など
礼儀作法

☆いらっしやいませ☆

お菓子屋さんごっこをして遊んでいます。放送用のマイクで「お店が開きましたよ！」の一言でお店がオープンします。お客さん「栗饅頭1個と飴を1個ください。」店員「100円になります」と会話が始まります。

お財布から10円をだし「10円20円30円・・・」と数え戸感っていると店員をしていたA君が「10円20円・・・」と一緒に計算をしていました。買い物をしすぎたM君は「お金がたりない。」と慌てて返品をし持っているお金の分だけの買い物をしていました。

遊びを通して計算をする楽しさを感じている子どもたちです。

♪保育参観について♪

2月27日(金)に3歳以上児クラスの保育参観があります。お子様の保育園での生活をぜひ見ていただけたらと思っています。時間等につきましては、また後日お知らせを配布致します。





H26. 2. 10 (火)

登園すると、子どもたちが植えたちゅうりっぷの様子を見ている子どもたち。気温が低い日が多く、「ちゅうりっぷの芽、なかなか出てこないね。」「寒いからまだ出てきたくないのかもよ。」と心配していたのですが、あたたかい日も続き、1つ2つ…とちゅうりっぷの芽が土から顔を出していました。「あ！芽が出たよ。」「この頃、あったかかったもんねえ。」と、春の訪れを感じている子どもたちです。

「また、会えたらいいね！！」

1月29日(木)、3園合同のなかよし交流会がありました。春の町保育園に、ふたば保育園とつばさ保育園が遊びに行きました。初めは、お互いに緊張している様子の子どもたちでした。しかし、一緒に絵本の読み聞かせを聞いたり、パラバルーンを使ってゲームをして遊んだりするうちに、笑顔も増え、「今度は負けんように

がんばろう！」と、取り組む姿もみられました。楽しい時間はあっという間だったようです。

「また、遊びたいね。」「今度は、ふたば保育園においでよ。」なんて、子ども同士の会話も聞かれました。



「おにだぞ〜！！」

2月3日は節分でした。自分で作った鬼のお面と鬼のパンツを着て、豆まきをしました。0、1、2歳の部屋にも行き、「みんなの心の中のオニを退治するために私たちに豆をまいてね。」と、説明するオニでした。そしてオニになって逃げました。泣いている子がいるとお面をとって「ほら

大丈夫よ。」と顔を見せる、年長らしいやさしい姿も見せました。



ドキドキわくわく

ひらがなオリエンテーション♪

2月12日(木)に槻田小学校に行きます。5年生のお兄さんお姉さんが“学校って、楽しいところだよ”“学校ではこんなことをするよ”と教えて下さるそうです。子ども達は楽しみにしていますよ。

それぞれの小学校の体験入学に行った子ども達もいて、ますます就学への喜びが大きくなっているようです。その一方で、「みんなと遊べるのも、もう少しだね。」と、お別れのさみしさも感じているようです。